



青木あすなる建設の技術紹介



1



AsunaroAoki

青木あすなる建設という会社

商号

青木あすなる建設株式会社

設立

1950年9月25日

資本金

50億円

本社

東京都港区芝4丁目8番2号

上場市場

東京証券取引所市場第一部

社員数

840名(単体) 1,751名(連結)
<2018年3月現在>

青木あすなる建設の技術の紹介



無人化施工システム



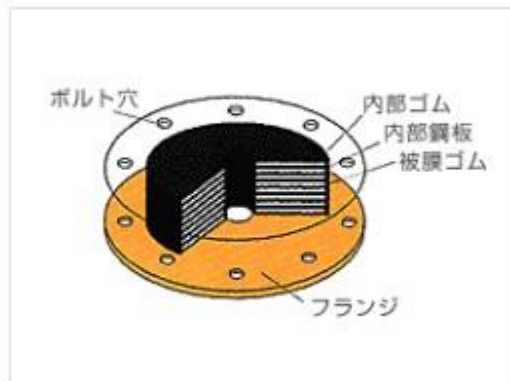
水陸両用ブルドーザー関連工法



再生可能エネルギー事業への取組



制震ブレースを用いた耐震補強工法



免震構造技術



アビダス事業



1 技術研究所 (茨城県つくば市) の紹介



RC造地下1階、地上3階、延べ9,000㎡の本館と骨材ヤード、屋外ヤードからなる敷地面積23,533㎡。各種実験や分析のための種々工夫された設備を有しています。



2 研究開発内容の紹介

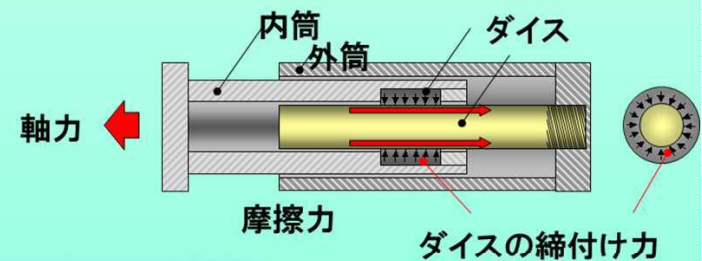
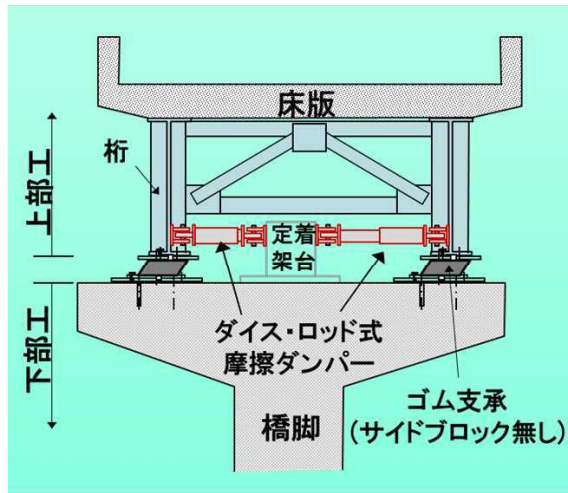
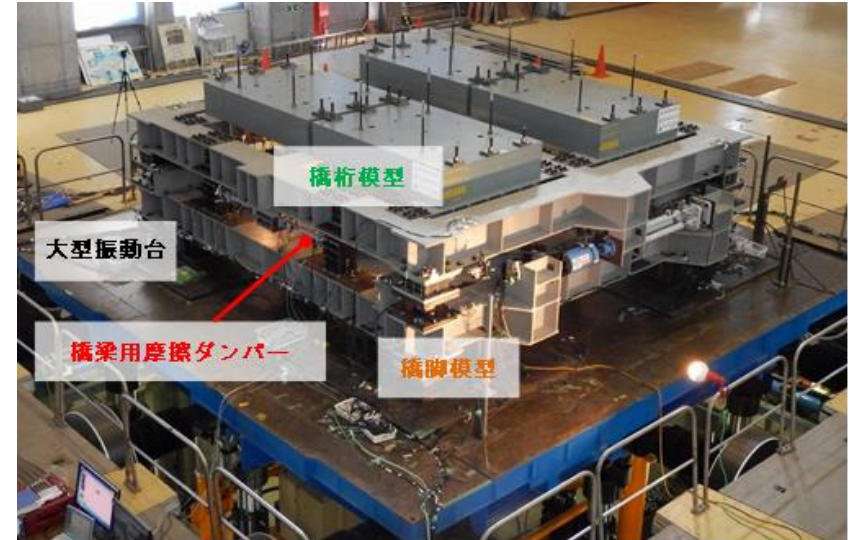
(1) 研究テーマ

既設橋梁の耐震性を向上させる技術の開発。

(2) 研究内容

地震時における橋脚の変形を抑制、橋桁の移動量を抑制する制震装置

「橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を
首都高速道路(株)と共同研究・開発。



3 無人化施工システムの紹介



災害発生等により人間が近づけない危険地区の機械土木作業を無線遠隔操作により施工する無人化施工システムを開発、1995年3月建設大臣認定機関である（社）日本建設機械化協会より「建設機械化技術・技術審査証明」を取得。ブルドーザ、バックホー、ダンプトラックの大型機械を、現場から中継されるテレビ映像のモニター画面を見ながら無線遠隔操作する技術です。また、GPSを活用し、大型重機械の位置計測と出来形の測量を行います。長崎県雲仙普賢岳をはじめ、日本各地の重大災害発生地域で活躍しています。





四半世紀にわたり培ってきた当社独自の工法であり、近年の沿岸漁業整備開発事業や海岸環境整備事業及びマリンレジャー施設において、他工法では不可能な浅水域の工事で高い評価を得ています。海岸・河川・港湾・漁港・漁場などで活躍しており、この分野においては屈指の実績をあげています。



東日本大震災の復興工事で大活躍した話が絵本にもなってます！

5 風力発電事業の紹介

風力発電事業への取り組み

立案から建設までのエンジニアリングをサポートします。



当社施工発電所（長崎県）
当社請負：実施設計、許認可業務、土木建築工事施工



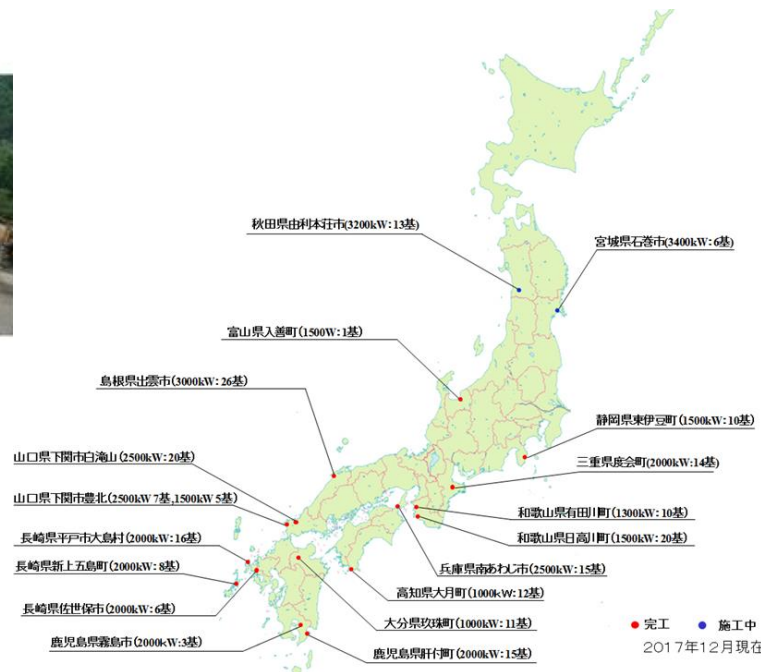
風車基礎施工状況



風車組立状況

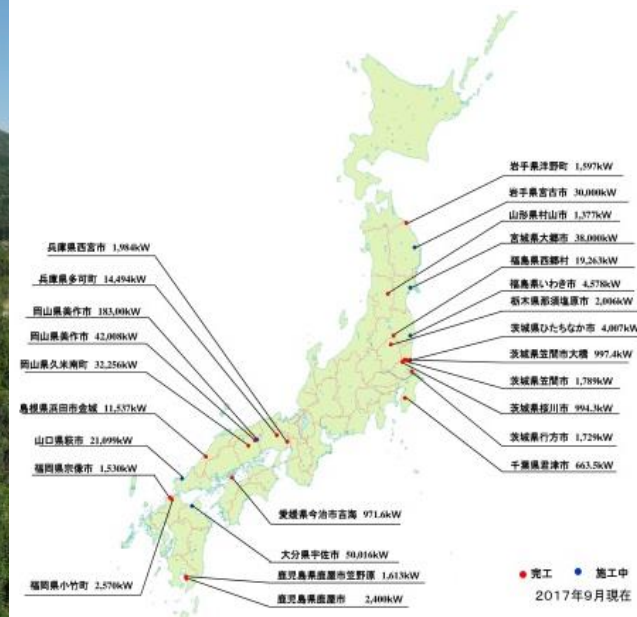


3次元解析システムによる開発計画



豊富な経験と技術を基盤に現地調査から計画立案、事業化、建設、運転保守に至る各フェーズで、さまざまな地域社会へのご提案やお客様への風力発電事業へのサポートを行っております。また、独自に風況精査を実施し、新たな発電所計画も進め、特に建設フェーズでは技術、コスト面で高い評価をいただいております。

6 太陽光発電事業の紹介



企画段階から現地調査を実施し、発電所計画の提案や実現化に向けて許認可・設計等の技術的なサポートを行っています。また建設工事においても費用対効果を検討し、コストを抑えた工事によりお客様の発電所完成を支援しています。



7 制震ブレースを用いた耐震補強工法の紹介

簡易な施工・居ながら補強が可能・スリムな外観
環境に配慮した工法・補助金

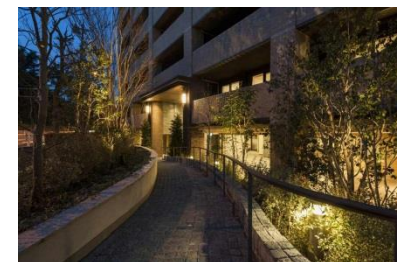
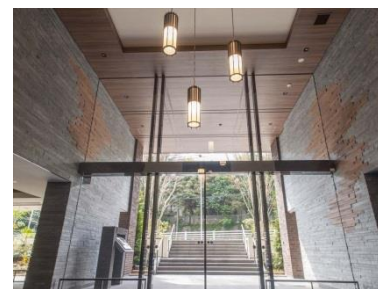
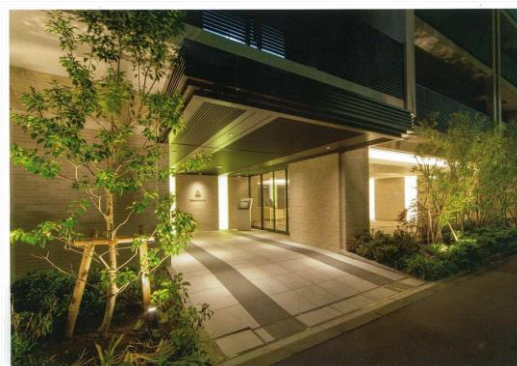


高性能、低コスト、短工期、そして居ながら補強を実現した耐震補強システムです。建物の外壁面に摩擦ダンパーを組み込んだ制震ブレースを取り付け、地震エネルギーを効率よく吸収することで、大地震時の揺れを小さくします。



8 自社マンション（アビダス）事業の紹介

自社で用地取得から販売、メンテナンスまでを手掛ける
自社マンション（アビダス）事業に取り組んでおります

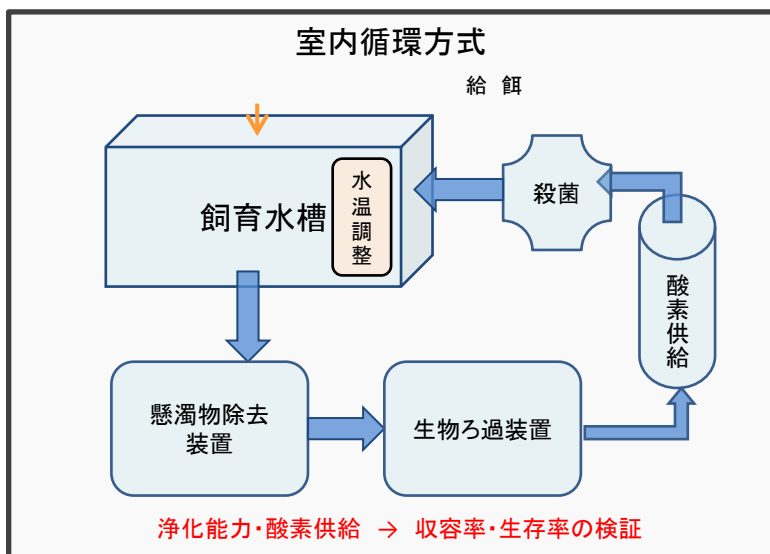


■農林水産業への参入

アジア圏での消費拡大傾向にある水産物に注目し、アワビの陸上養殖の事業化に向け研究を開始。



キャビア生産にむけて、当社の技術研究所でチョウザメの試験養殖を開始。



アワビ陸上養殖 システム例

